



一般社団法人 現代教育研究協会

会報

60

題字 岸本頼兼氏

(平成8年~平成20年 京都市長)

発行所 一般社団法人 現代教育研究協会
〒600-8216 京都市下京区不明門通七条下ル
東塩小路町709番地
RYOKAN GINKAKU KYOTO 内

印刷所 (有)章美プリント

ご挨拶とお礼

会長 在田正秀



現代教育研究協会会員の皆様におかれましては、ご健勝のことと拝察申し上げます。

昨年度、本協会の諸活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年度の本会の活動はコロナ禍の影響が完全に無くなり、平年どおり講演会を三回開催し、見学研修や新年懇親会も実施できましたことは、本当に嬉しく有り難いことでした。

昨年六月には、NHK大河ドラマ「光る君へ」で源氏物語への関心が高まっていたことか

ら、源氏物語など王朝文学の講演会の講師としてご活躍の岸本久美子先生（元京都市立高校校長）に「光源氏という思想」と題してご講演頂きました。源氏物語は「愛と恋」の物語のように思われているが、実は「老いと悔い」の物語であり、それは光源氏の「孤独な魂の物語」でもあるという、まさしく源氏物語の思想に触れる講演会となりました。

また第二回講演会では、「文化創造都市・京都」の新たなシンボルゾーン創生を目指す崇仁地域に市立芸大と共に移転した京都市立美術工芸高校の最先端の新校舎を視察させて頂き、名和野新吾校長先生（当時）に「美工が目指す学びとは？」とし

て、「美術」を「学ぶから美術」で「学ぶ学校へ」との改革理念、「アートを通して未来をソウゾウ（想像・創造）する学校」実現への熱い思いを伺いました。本年二月には、「認知症高齢者の保護の現状と解決に向けて」と題して、一般社団法人「つなぎ」の中邨よし子代表理事にご講演頂きました。警察に保護された際のお迎えや救急搬送時の駆け付けなど、介護保険にはない家族へのサポートの現状と課題を伺い、参加者一同身にまさされる思いをした次第です。

昨年は、こうした三回の講演会（内容詳細は後述）と共に、宇治市源氏物語ミュージアムの見学研修も実施致しました。ご参加頂きました皆様には感謝申し上げます。

本会は、会員の減少と高齢化、講演会等の参加者の減少と固定化、厳しい財政状況など課題山積であり、会員の勧誘や講演会等の参加者増に向け引き続き取り組みを進めます。今後とも、会員の皆様におかれましては、本会運営に対する

ご意見・ご要望をお寄せ頂ければ大変有り難く存じます。

今年度も宜しくお願い致します。

第二回講演会

令和六年六月一日（土）

「光源氏という思想」

源氏物語講読会講師
元京都市立銅駝美術工芸高等学校長

岸本 久美子氏



NHK大河ドラマ「光る君へ」の影響もあって、「源氏物語」が大変なブームとなっています。ただ、実際に「源氏物語」がどのような物語なのかといえは、様々な受け止めがなされています。故瀬戸内寂聴さんは、愛だ、恋だ、を繰り返す物語とされてきましたが、そればかりではないと思います。また、帝になれなかつた男（光源氏）の悲哀の物語とされる方もいます。読み手によつて、受け止め方が異なりますが、本日は「光源氏という思想」と題して、光源氏の一生を通して、作者紫式部がどのようなことを伝えたかったのか、講読（原文を読んで意味を解きあかす）していきたいと思えます。なお、「源氏物語」には登場人物が五二〇人いると言われています。また詠まれている和歌は

七九五首になります。紫式部一人が、すべての登場人物に成り代わって七九五首の和歌を詠んでいます。紫式部が天才と言われる所以です。

「源氏物語」原文を講読

読み進めてきましたように、光源氏の前半生は光り輝くもので、世の中に怖いものなど何もないという感じでしたが、様々な人との出会いと別れ、後悔を繰り返す中で、後半生は日が陰って光が失せていくようになってきました。「あの時も、そしてあの時なぜあんなこと……」今は、自分がかつて軽蔑した老人なのだ。「悲しみの涙が溢れてとまらない」という言葉のように、紫式部は、光源氏の老い、悔い、寂寥感をしつこいぐらい描いています。実は、はじめ「源氏物語」は光源氏の栄光の時だけを描く物語だったはずが、紫式部は光源氏が老いていく後半生の人生も描きました。このこ

とから、紫式部が一番描きたかったのは光源氏の後半生ではないかと思つています。光源氏は紫の上(登場人物)を失つたことを心から悔いますが、悔いの対象が亡くなつていたら、もうどうしようもありません。人は生きていくうえで必ず悔いを残すものであつて、人生はどうしようもないものである。紫式部はそのように考えていたのでないでしょうか。光源氏はたいそう女性にモテて、お金も地位もありました。しかし、誰にも言えない秘密がありました。紫の上がなくなつた後は、それを癒してくれる人もいなくなりました。また、光源氏は母親を

知りません。孤独であり、紫の上をはじめ大事な人との別れを繰り返してきた人生でした。これは、紫式部と重なつています。紫式部も三歳で母親と死に別れたため、母親を知らない人でした。紫式部も光源氏と同じように、母親やお姉さん、仲の良い人との別れを繰り返してきた人生だつたようです。そのようなことを考えたとき、私は、「源氏物語」は愛と恋の物語ではなく、老いと悔いの物語だと思います。それは光源氏の孤独な魂の物語でもあります。そして、その孤独な魂は作者紫式部自身のものであつたのだと思います。

第二回講演会

令和六年十月五日(土)

「美工が目指す学びとは」予測できない時代を切り拓く 青年育成のために

京都市立美術工芸高等学校長(当時)

名和野 新吾氏

一、美工の変遷

明治期、遷都が行われて京都市の人口が二／三に減りました。何とかしなければと、当時の民衆が番組小学校をつくりました。また、産業活性化の一環として、一八八〇(明治十三)年に京都府画学校がつくられたのが本校の始まりです。一九〇九年には京都市立芸術大学の前身である絵画専門学校

が兄弟校として併設されます。戦後一九四九年には、GHQによって産業系の単独校が禁止されたため、日吉ヶ丘高校の美



術課程という形になりましたが、一九八〇年に銅駝美術工芸高校として独立し、二〇一三年、京都市立芸術大学とともにこの地に移転し、校名も京都市立美術工芸高校に戻りました。



二、「美術」を「学ぶ」から「美術」で「学ぶ」へ

高校では新学習指導要領が本年度から全面实施となり、本校でも移転前からグラウンドビジョンを策定し二十一世紀型スキルを持つ人材の育成を掲げています。また、少子化で私学との競争が激化しています。本校では、平成三十年度に定員九十名に対し志願者は九十四名になりました。それまで生徒や保護者の印象は、入学するのは美術の才能がある生徒だけ、卒業して美術の世界で生きていくのは難しいというものでした。そこで、普通科と変わらない学力を育成するよう教育課程を組み直しました。「美術」を「学ぶ」から「美術」で「学ぶ」への転換です。そして、そのことを繰り返しアピールした結果、平成三十一年度に志願者数はV字回復しました。

三、強い意志が必要

生徒自身に本校に入りたいという強い意志がない場合、入学を勧めません。それまで絵が上手と褒められてきた生徒が、入学後、自分より上手な生徒がいったり、また、展示ということ以外から評価を受けたりすることになります。そこで精神的にショックを受ける生徒が少なくありません。それを乗り越えるには、自分は絶対にこれをしたという強い意志を持つていないと本校ではやっていけないからです。

四、自己責任

本校では、入学時にiPadを全員に購入してもらい、学習からスケジュール管理まですべてiPadで行います。スマホも持ち込みOKです。よく言われます。iPad、スマホで遊んでいる生徒がいないのですか。いまは十八歳から大人です。大人を目前にした高校生が、TPOを分かんずに授業中にiPadで遊んでいたら、それは自己責任です。また、アルバイトも禁止していません。在校生の中には自分の作品をシールやイラストにして販売し、生計を立てている生徒もいます。

五、興味関心を引く授業

一学年九十名。専攻は八分野です。一年生は八分野を少しずつ体験し、その中から興味のあつた分野を選んで、二年生からは一分野に絞ります。専攻や教

科学習に加え、美工スキームやキャリアアップデュース等の新しい学習も取り入れています。例えば、AIの活用には国語力が必要です。彫刻に使う土に含有される成分は土地によって変わるため、科学や地学の知識が必要となります。このように、専攻と教科の結びつきを意識し、興味関心を引く授業を目指しています。



六、基礎教養が大切

AIは瞬間的に作品を生み出しますが、文字でしっかりと説明(入力)しないと、イメージする作品は出てきません。AIを活用するにも教養や言語力が必要です。そのため、在校生や本校を目指してくれる中学生にも、受験科目だけでなく実技教科も含め、すべての学習活動に一生懸命に取り組んでほしいと伝えていきます。基礎教養があつてこそ、作品づくりのスキルを身に付けることができるし、唯一無二の作品を生み出すことにつながります。

七、アート思考の育成

数年前、AIで作成されたデジタルアートがコンテンツで一位となり、大きな話題となりました。また、故手塚治虫の作



品「ブックジャック」の続編がAIで作成されました。このような時代にあって、作品づくりに必要なスキルはもちろんですが、「0」から「1」を生み出すアート思考の育成を目指しています。既成概念を変える、常識に捉われない、そうしたアート思考は様々な企業で重視されはじめています。マイクロソフト社は多くのアーティストを招聘しているなど、ビジネス界でも大変注目されています。

八 チームで生み出す

iPhoneを生み出したアップル社の故ステイブ・ジョブズは、稀有なアート思考の持主でした。ただ、彼一人で何ができたでしょう。彼の周りには、アイデアを形にするスタッフがたくさんいたはずで、チームラボ代表の猪子寿之氏も独自のアイデアの持主ですが、そのアイデアを具現化するには、絵画や工芸の経験があるスタッフが欠かせないと言っておられます。本校から特別なアート思考をもった人物が生まれることも期待していますが、そうした特別な才能を支える専門家や美術や工芸を社会に還元できるスキルを有する人材の育成も重視しています。

九 哲学の必要性

日本人は、抽象が嫌いで具象が好き傾向にあります。抽象は、教養や哲学がないと分かりにくいからです。京都精華大学前学長のウスビ・サコ氏は、日本の高校教育に足りないものは哲学だと指摘されています。日本画の大家・東山魁夷は感動的な作品を多く生み出しましたが、その土台はドイツ留学で得た哲学だとされています。日本の高校では哲学を教えることは難しいため、本校では六十を超える外部団体と連携した取組を行っています。外部連携によって、幅広い教養とアートが社会に生きているという自己有用感を生み、生涯学び続ける態度につなげたいと思っています。

十 疑う、没頭する

明治期から生徒たちの作品づくりの様子はほぼ変わっていませんが、今の生徒には自由感がありません。すぐに他人や他に責任や理由を求める傾向にあります。作品づくりには正解はないのですから、先生や指導者の指導を疑うことも大切で、芸術家の草間弥生氏は本校が合わないと言った中退されました。今の生徒たちは



真面目で優しいですが、多少とんがった部分があってもよいと思っています。生徒には、大きく自由な学校生活を送ってほ

第三回講演会

令和七年二月一日(土)

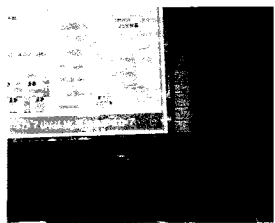
「認知症高齢者の保護の現状と解決に向けて」

一般社団法人「つなぎ」代表理事

中邨 よし子氏

一 一般社団法人「つなぎ」の活動

昭和五十九年に京都府警察官を拝命し、主に防犯活動、広報活動等を務め、定年退職した一昨年、一般社団法人「つなぎ」を立ち上げました。主な活動は、警察に保護



五年四〇〇七人、平成二十五年比で二、二倍です。単純計算で一日十一人が保護されていることとなります。これは警察が把握した数値で、例えば、近所で知り合いに保護されたり、家族が発見したりするなど、実際の件数はもっと多いと思われます。

三 認知症高齢者の保護

徘徊される認知症高齢者は、何時間も同じ場所に居続ける、裸足や季節に合わない服装、雨なのに傘をさしていないなど、見た目におかしい場合に通報があれば、警察官職務執行法を根拠に保護を行います。簡易裁判所に届けると七十二時間まで認められますが、原則保護は二十四時間を超えては認められません。

四 認知症高齢者のお迎え

現役時代、家族への連絡担当をしていました。一回目は「す

しい。今、自分が何をしたいのかを大切に没頭してほしいと願っています。

みません。すぐに迎えに行きます」となりますが、三〜四回目になると「タクシーに乗せてください」「夕方まで預かってくれませんか」となります。法律では引き取りは家族に限定されていないため、ケアマネージャーが迎えに来たり、警察官が自宅に送ったりなど、現場レベルの裁量で行われている部分が多くあります。

五 「つなぎ」設立の契機

上京警察署で勤務していた頃、山科区にお住まいの認知症高齢者を保護しました。ご自宅には高齢の奥様が一人で、自分では迎えに行けません。係長が時(の上司)が送ると言うのですが、係長不在時に大きな事案が発生することも想定しなければなりません。仕方なく、高齢の奥様にタクシーで迎えに来てもらう判断をしました。このようなことを何度も経験し、お迎えが家族に限定されておらず、そうしたニーズや実態であるならばと、「つなぎ」を立ち上げたわけです。

六 「つなぎ」が家族の精神的な支えに

住み慣れた家での一人暮らしがよいと、認知症でも一人暮らしの高齢者が多くおられます。ある事例です。認知症が進行して散歩から家に帰れなくなった高齢者がおられました。息子さんが迎えに行きますが、何度も仕事に呼び出される息子さん

は「何してんのや」と母親にキツイ言葉を言ってしまった。息子さんは大変後悔され、離職して介護に専念しようかと考えていた際に「つなぎ」を見つけた。頼れるものができて精神的に助けられたということだ。

七. 「見守りながら見守られて」

京都府の認知症応援大使である幸 陶一（ゆきすえかず）さんが、子どもの見守り活動を知って、ある警察署に相談しました。認知症の幸さんには危険も伴うため、娘さんと一緒に地域交通安全活動推進員として活動していただくこととなりました。活動を通じて子どもたちも幸さんの顔を覚えて、幸さんに何かあった場合、子どもたちが見つけてくれる可能性が「見守りながら見守られて」です。

八. 「高齢者一〇番の家」

高齢者向けの「子ども一〇番の家」として、「高齢者一〇番の家」を立ち上げようと考えています。京都には、認知症にやさしい異業種連携協議会や京都高齢者サポート企業という組織があり、多くの企業や団体が参画しています。そうした企業にお願いで、「高齢者一〇番の家」の旗を立ててもらおう予定です。個人で協力してくれる方もおられます。いずれは全国各地に広がれば嬉しいですね。

九. 京都が全国初

「子ども一〇番の家」

実は、私は「子ども一〇番の家」の立ち上げのスタッフでした。当時、子どもが被害になる事件が相次いだため、全国の警察で「子ども一〇番の家」を立ち上げようとなりました。広島県警がいち早く立ち上げようと動いている情報があったため、その三日前に都道府県単位では全国で初めて京都府警が立ち上げました。二番より一番ということでした。

十. みんなで支え合う

年をとると誰でも認知機能は衰えますが、生活に支障をきたすレベルになると認知症、そうでない場合は軽度認知機能障害といわれます。認知症になれば、家から出かけるな、施設に入ったら、となりますが、それが幸せな生活につながるのか。誰もが年をとります。できるだけ多くの方が生き生きと暮らせるよう、みんなで支え合うことが大切です。医療従事者、行政だけでなく、企業や地元の方も含め、みんなで高齢者を見守ることが大切です。

十一. なぜ介護休暇は一度きり?

かつての日本では、二十代で結婚して子育てが一段落したら親の介護が始まるというのが一般的でした。しかし、現代は、結婚や出産が遅くなり、子育て中に働きながら親の介護が始まることも多くなっています。育児休暇は、子を出産するたび三年育児して落ち着いたら職場復帰していただきたい制度ですが、介護休暇は一度きり三ヶ月しか休めません。そうしたことにスポットを当てたいと思っています。

十二. 「エンディングノート」の紹介

公的機関から「エンディングノート」が無償配布されています。「エンディングノート」を書くことで、銀行口座やクレジットカードの再確認にもつながります。葬式やお墓など、自分の希望を書き残しておくこともできます。遺言ではないため法的効果はありませんが、自分が亡くなった後、家族や友人に伝えたいこと、残されたものが苦勞しないための情報を残しておくことを大切にしてほしいと思います。

研修会（見学）宇治市源氏物語ミュージアム

第一回講演会を受け、「源氏物語ゆかりの地を訪ねて」との

テーマのもと、源氏物語「宇治十帖」の舞台となった宇治を訪

令和六年十二月一日（日）

れました。

ミュージアムへの道中には、第五十帖「東屋（あずまや）」、第四十六帖「権本（しいがもと）」の古蹟があり、高札を読みながら物語の世界に誘われていきま



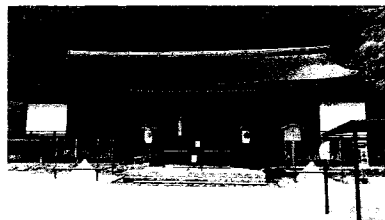
した。

一九九八年に開館した「宇治市源氏物語ミュージアム」では、光源氏や「宇治十帖」の世界、平安時代の文化が分かりやすく紹介されていて、当時の貴族の



華やかな暮らしに思いをはせながら、改めて源氏物語の魅力を感じることができました。

見学後は、第四十七帖「総角（あげまき）」、第四十八帖「早蕨（さわらび）」の古蹟を巡りながら、途中、世界遺産の「宇治上神社」も見学しました。宇治川畔での昼食の後、世界遺産の「平等院」も訪れ、名残りの紅葉をめでながら、「源氏物語」の世界に触れた晩秋の一日を終えました。



編集後記

第一回講演会では、岸本久美子先生による「講読」によって、参加者一同が源氏物語の世界に引き込まれていき、ぜひ一度源氏物語」を手に取りたいとの思いを強くいたしました。本号では、紙面の関係でその部分をご紹介できないのが残念です。

その講演会をはじめ、他の講演会や研修会においても、会員以外の方の参加がありました。会員の皆様のお声かけで、本会の活動の輪が広がることはありがたいです。引き続きよろしくお願いたします。

一般社団法人 現代教育研究協会

◇事務局住所
〒600-8216 京都市下京区不明門通七条下ル
東塩小路町 709 番地
RYOKAN GINKAKU KYOTO 内
団体ホームページ <http://www.gendaikyoiu.org>

◇入会のお問い合わせ
メールアドレス Kyotogendaikyoiu@gmail.com
(メールには、お名前、フリガナ、メールアドレス、電話番号を明記してください。)